

環境問題

★ 環境問題はココをおさえる ★

🌀 環境問題は定番中の定番ジャンル！

本書で取り上げる12のジャンルの中で、皆さんにとって、この「環境問題 (environmental problem)」が最もおなじみのジャンルといえるのではないのでしょうか。そして、受験に出題される長文の中で、定番中の定番といえるジャンルのひとつです。私たちの生活の中でも、環境問題への関心と取り組みは、いまやブームのように広く浸透しています。

しかし、環境問題とは、実はかなり複雑な要素を持つもので、本当の原因もよくわからず、解決の糸口はまだはっきりと見えていないのが現状です。

一般に、環境問題と呼ばれている諸問題には、以下のようなものが含まれます。

- ・「オゾン層の破壊 (destruction of the ozone layer)」
- ・「温室効果ガス (greenhouse gas / greenhouse effect gas)」
- ・「地球温暖化 (global warming)」
- ・「酸性雨 (acid rain)」
- ・「有害廃棄物 (hazardous waste)」
- ・「海洋汚染 (sea pollution)」
- ・「野生動物の絶滅 (extinction of wild animals)」
- ・「熱帯雨林破壊 (destruction of the tropical rainforest)」
- ・「砂漠化 (desertification)」

これらすべては、相互に複雑に絡み合っていて少しややこしいのですが、個々の問題をひとつずつ、それぞれの英語表現とともに、明確にイメージしておくとい良いでしょう。

中でも、温暖化の問題は、緊急の課題として取り上げられることが多く、十分に把握しておく必要があるでしょう。テレビでは、溶けていく氷河、水没しかけている島々、各地で起きる洪水 (flood) や飢饉 (famine)、絶滅 (extinction) の危機にあるホッキョクグマといった映像があふれており、皆さんも何度も目にしたことがあるはずです。本書でも Part 2 の第1文、第2文で、温暖化をテーマとした長文を取り上げています。

ただし、念のために付け加えておきますと、20世紀の後半から始まった温暖化が、本当に人間が作り出したものなのかは、学問的にははっきりしていないのが実状です。温暖化を食い止めるために二酸化炭素 (carbon dioxide = CO₂) の排出を抑えることが、実際にどれだけ温暖化防止に効果を持つのかもわかっていないのです。しかし、このような懐疑的な視点が入試の内容に反映されるまでにはまだ少し時間がかかりそうです。とりあえずは、こうした話もあるということを入れておくだけでよいでしょう。

🌀 環境問題への取り組みは一様ではない

環境問題に対する取り組みは、その問題の複雑さゆえにさまざまな要素を含みます。環境問題は国境を越えて広い範囲に影響を及ぼすことが多く、また、その原因や影響の解明や予測が極めて困難であり、さらに対策の実施がさまざまな分野に及ぶため、国際的な協力が必要となります。しかも国家だけでなく、NGO (非政府組織: nongovernmental organization) や研究者グループ、あるいは地方自治体やEU (ヨーロッパ連合: European Union) のような地域機構など、多様な主体の参加とネットワーキングも必要となります。さらに、「私たちがよりどころとしている市場経済とは何か」という社会科学の視点、あるいは「人間にとって消費とは何か」という人間科学的な主題の検証も必要となります(🌀市場経済については第2章を参照)。

このように、環境問題には多岐にわたる要因が複雑に絡み合っているため、解決策は国際的な取り決めによってグローバルに(地球規模で)行うものと、